

◇成果指標の実績・評価

施策名	指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度
I. 生きる力を育む教育の充実				
学力の向上	全国学力・学習状況調査の平均正答率 【全国学力・学習状況調査】(全国平均を上回る)	小学生:61.0% 中学生:60.8% 全国小学生との差△3.2% 全国中学校との差△4.8%	小学生:55.8% 中学生:57.0% 全国小学生との差△4.7% 全国中学校との差△5.5%	小学生:67.0% 中学生:63.5% 全国小学生との差+1.5% 全国中学校との差△3.0%
	1時間以上家庭学習をしている児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】(小・中学校80%以上)	小学生:62.4% 中学生:64.4% 全国小学生との差△2.0% 全国中学生との差△5.2%	小学生:66.7% 中学生:58.0% 全国小学生との差△0.5% 全国中学生との差△12.6%	小学生:66.9% 中学生:68.2% 全国小学生との差+0.8% 全国中学生との差△1.6%
豊かな心を育む教育の充実	「人の気持ちが分かる人間になりたい」と思う児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】(100%に近づける)	「いじめは、いけないことだと思う」【全国学力調査】(全国平均以上)*H29～ 小学生:81.8% 中学生:71.3% 全国小学生との差+0.6% 全国中学生との差△2.0%	「いじめは、いけないことだと思う」【全国学力調査】(全国平均以上)*H29～ 小学生:98.0% 中学生:95.2% 全国小学生との差+1.2% 全国中学生との差△0.3%	「いじめは、いけないことだと思う」【全国学力調査】(全国平均以上)*H29～ 小学生:99.0% 中学生:95.5% 全国小学生との差+1.9% 全国中学生との差+0.4%
	「読書が好き」と思う児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】(小・中学校80%以上)	小学生:70.8% 中学生:78.4% 全国小学生との差△3.5% 全国中学生との差+8.5%	「1日の読書時間が10分以上」【全国学力調査】(全国平均以上)*H30～ 小学生:69.2% 中学生:47.6% 全国小学生との差+3.0% 全国中学生との差△5.9%	「1日の読書時間が10分以上」【全国学力調査】(全国平均以上) 小学生:68.2% 中学生:54.3% 全国小学生との差+2.5% 全国中学生との差△3.9%
健やかな体の育成の推進	小中学生の50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げの3種目において、県平均を上回っている種目数 【児童生徒の体力能力調査】(県平均を上回る)	小学生(男):2種目 小学校(女):2種目 中学校(男):0種目 中学校(女):0種目	小学生(男):0種目 小学校(女):0種目 中学校(男):0種目 中学校(女):2種目	小学生(男):1種目 小学校(女):0種目 中学校(男):2種目 中学校(女):3種目
	「朝食を毎日食べる」児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】(100%に近づける)	小学生:91.6% 中学生:91.6% 全国小学生との差△3.8% 全国中学生との差△1.6%	小学生:91.9% 中学生:93.0% 全国小学生との差△2.6% 全国中学生との差+1.1%	小学生:95.2% 中学生:93.5% 全国小学生との差△0.1% 全国中学生との差+0.4%
不登校・いじめ対策の充実	小中学校の不登校児童生徒数の割合 【塩竈市教育委員会調べ】(全国平均以下とする)	小学生:0.33% 中学生:3.86% 全国小学生との差+0.21% 全国中学生との差△0.61%	小学生:0.43% 中学生:3.48% 全国小学生との差+0.27% 全国中学生との差+0.17%	小学生:0.43% 中学生:2.40% *全国データ未公表
一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の充実	特別支援教育支援員の配置状況 【塩竈市教育委員会調べ】(各校2名配置を目指す)	20人	20人	18人
II. 学習環境の充実				
学校施設の整備・充実 学習設備の充実	大規模改造事業、長寿命化改良事業を実施(着手含む)した学校の割合 【塩竈市教育委員会調べ】(11校中4校)	11校中3校	11校中4校	11校中4校
	学校からの修繕要望に対する事業実績の割合 【塩竈市教育委員会調べ】(90%以上)	76.7%	71.0%	75.0%
III. 地域社会との連携強化				
地域との協力体制の構築 学校情報提供の双方向性の確立	地域の行事に参加している児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】(小学生90%以上・中学生60%以上)	小学生:66.7% 中学生:38.2% 全国小学生との差+4.1% 全国中学生との差△3.9%	小学生:63.1% 中学生:47.6% 全国小学生との差+0.4% 全国中学生との差+2.0%	小学生:77.9% 中学生:58.7% 全国小学生との差+9.9% 全国中学生との差+8.1%

評価	総括
△	平成31年4月に実施した全国学力・学習状況調査では、全国と本市を比較した場合、本市の小学校では、国語と算数の2教科ともに、平均正答率で、それぞれ+3.2ポイント、+0.4ポイント、全国平均を上回ることができた。中学校では、昨年度と比較し、国語が-3.5ポイントから-1.8ポイントに、数学が-7.0ポイントから-3.8ポイントと、全国平均との差を縮めることができた。本市では、平成29年度から第4次学力向上プランに基づき、どの子にも「できる・分かる」喜びを味わえる授業づくりに取り組んでおり、平成30年度からは、「しおがま『学びの共同体』による授業づくり」をスタートさせ、その取組を加速している。日々の授業の質の向上を図る児童生徒主体の学力向上対策であり、授業満足度や学級生活満足度において、高い数値を示している。小学校と比べると中学校は全国平均を上回るまでには至っていないため、効果的な家庭学習の在り方を探り、授業と家庭学習を連動させるなど、家庭でも主体的に学習していくように改善を図っていく。
△	
○	平成28年度の全国学力・学習状況調査から「人の気持ちが分かる人間になりたい」という質問項目がなくなったため、平成29年度以降は、同調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」を新しい指標として置き換える。平成28年4月に塩竈市いじめ防止対策推進条例を施行し、市や各学校がいじめ防止対策の組織体制を整備したことや、「アルカス☆塩釜☆」などの児童生徒の自主的ないじめ撲滅活動を展開していることが、児童生徒の意識向上につながっており、指標の数値は高い値を維持している。
△	平成30年度の全国学力・学習状況調査から「読書が好き」という質問項目がなくなったため、平成30年度以降は、「1日の読書時間が10分以上」の児童生徒の割合を新しい指標として置き換える。小学校では、昨年引き続き全国平均を上回ったが、中学校では下回った。小学校ではボランティアによる読み聞かせ等の読書活動を取り入れている学校や、廊下に読書スペースを設けるなどの工夫を行っている学校もある。中学校でも朝読書等の取り組みを行っている学校もあるので、その工夫を他校にも周知し、引き続き充実した読書活動ができるようにしていく。
△	令和元年度は、中学校男女の結果が良く、男子では2種目、女子においては3種目とも県平均を上回った。特に、中学校女子は指標としていない種目も含め調査を行った9種目全てにおいて県平均を上回っている。小学校では男子が1種目県平均を上回る結果となったが、女子は上回る種目がなかった。児童の体力・運動能力向上を目指し、令和元年10月には、小学校教員を対象に「体力・運動能力向上出前研修会」を開催し、県の体力・運動能力向上指導教員から指導を受けた。その後、各小学校で体力・運動能力向上に向けての取組を継続して行っている。
○	「毎日朝食を食べる子どもの割合」については、昨年度より小中学生ともに、微増であるが増加となっており、今後も取組を行っていく。学校給食については、管理栄養計算ソフトの導入による事務改善や調理休息室へのエアコン導入等の職場環境の改善に取り組んだ。一方、新たな給食メニューの開発や既存メニューの改良、塩釜漁業協同組合の協力による日本一早い早採りワカメの食育授業や、塩釜市蒲鉾商工組合より贈呈されたかまぼこの活用など「ふるさと給食」の実施にも取り組んだ。今後も、地元企業等の連携を図りながら、地元食材の向上を目指していく。
○	平成28年度に、不登校児童生徒の出現率が大きく低下し、小学校で全国平均を下回ったが、平成30年度には、初めて中学校でも全国平均を下回ることができた。小中一貫教育の開始以降、中学1年生の出現率が低下するなど、小中学校の滑らかな接続が不登校の未然防止に功を奏していると考えられる。また、塩竈市学びの支援センター「コラソン」と各学校に設置した学び適応サポートルーム、塩竈市けやき教室の連携も進み、不登校対策の充実が図られている。
○	令和元年度は、特別支援教育支援員を2名配置できない学校が2校あった。各学校においては、支援員が配慮が必要な児童生徒への個別の支援をサポートしている。また、小中一貫教育においては幼保小連携事業の取組の充実を図っており、特別支援教育スーパーバイザーによる小学校、幼稚園・保育所等訪問指導を継続して行い、配慮が必要な児童の幼保から小学校への滑らかな接続に努めている。
◎	国の補正予算を活用した第三中学校の長寿命化改良工事は、平成30年度に西校舎の改良工事を完了し、令和元年度に北校舎の改良工事を実施し全体を完了した。
△	学校からの修繕要望については、割合としては前年度より高くなったものの指標である90%以上には届かない状況にあるが、第一中学校音楽室床改修工事や第二小学校体育館床改修工事などを行い、今後の学校運営の向上や児童生徒の安全確保に繋がるよう努めた。
	学校施設の老朽化等に伴い、今後も長期的・根本的な改善に努め、良好な学習環境を維持できるよう努めていく必要がある。
△	「地域行事への積極的な参加」については、小中学校ともに全国平均を上回った。今後も、地域行事への参加を働きかけるとともに、小中一貫教育の推進と関連させながら、中学校区単位での行事や活動の中に、地域住民と関わることができるような工夫をしていく。

施策名	指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度
IV. 生涯学習の推進				
学習機会の充実 学習活動の支援 生涯学習環境の整備	市民意向調査による生涯学習活動に対する満足度【市民満足度調査】(80%以上)	—	—	—
	生涯学習施設の年間利用者数(※図書館は貸出者数)【塩竈市教育委員会調べ】(H29から10%アップ)	エスパ:206,330人 公民館:60,448人 図書館:44,722人	エスパ:221,727人 公民館:55,553人 図書館:45,359人	エスパ:181,957人 公民館:50,696人 図書館:41,132人
	生涯学習施設の満足度【塩竈市教育委員会調べ】(80%以上)	エスパ:84.1% 図書館:67.2%	エスパ:98.2% 図書館:56.5% (無回答除くと73.7%)	エスパ:86.2% 図書館:70.3% (無回答除くと76.6%)
V. 歴史の継承と文化の振興				
歴史の継承	市民意向調査による地域文化の継承に対する満足度【市民満足度調査】(80%以上)	—	—	—
	Webミュージアム「文化の港シオーモ」のHPアクセス数【塩竈市教育委員会調べ】(対前年比10%アップ)	94,678件	80,265件	73,820件
文化・芸術活動の機会の充実と支援	市民意向調査による文化活動の振興に対する満足度【市民満足度調査】(80%以上)	—	—	—
	文化施設の年間利用者数【塩竈市教育委員会調べ】(H29から10%アップ)	遊ホール:50,826人 美術館:23,003人	遊ホール:47,892人 美術館:26,988人	遊ホール:34,441人 美術館:24,600人
	文化施設の事業実施にかかる満足度【塩竈市教育委員会調べ】(100%に近づける)	遊ホール:90.0% 美術館:97.3%	遊ホール:96.4% 美術館:94.0%	遊ホール:91.4% 美術館:94.0%
VI. 生涯スポーツの推進				
スポーツ機会の充実 スポーツ環境の整備	市民意向調査によるスポーツ振興に対する満足度【市民満足度調査】(80%以上)	—	—	—
	スポーツ施設の年間利用者数【塩竈市教育委員会調べ】(H29から10%アップ)	体育館:132,066人 プール:39,790人 屋外施設等:161,993人	体育館:125,786人 プール:40,415人 屋外施設等:147,568人	体育館:119,921人 プール:34,695人 屋外施設等:124,742人

評価	総括
-	ふれあいエスパ塩竈は、新型コロナウイルス感染拡大防止臨時休館(3月)の影響もあり、年間利用者数は前年度の82.1%に留まったが、満足度調査については86.2%の満足度を得ることができた。
△	公民館は、エスパと同様に新型コロナウイルス感染拡大防止臨時休館により、年間利用者数は前年度の91.3%に留まった。今後、施設の有効活用や多様なニーズ、新しい生活様式に対応した事業、また自主サークル活動への支援等をさらに検討する必要がある。
○	図書館の満足度調査では前年度56.5%を13ポイント以上上回った。これは昨年度まで不満が多かった駐車場について、無料駐車時間を拡大したことが満足度アップの要因になっていると考えられる。 利用者数は、昨年並みだが新型コロナウイルスの影響で3月に開館できなかったこともあり、昨年度よりは落ち込んだものの、各種事業や図書館の広報を行うことで目標の9割は達成ができた。
-	「文化の港シオーモ」のHPアクセス数は、減少傾向にある。HPのアクセス数を向上させるには、魅力的なコンテンツや新規情報の追加等、更新作業の頻度をあげることが必要となる。
△	
-	遊ホールにおいては、魅力ある文化芸術の提供や地元FM、ケーブルTV、音楽コンサート情報HPなど様々なメディアを活用したものの、稼働率、利用者数ともに昨年を下回る結果であった。遊ホール自主事業の満足度については、昨年よりも若干低いものの高い水準を維持できた。今後は自主事業の高い満足度を維持しつつ、稼働率の向上及び利用者の増加に向け改善に取り組み事業の充実を図っていく。また、市内の文教施設との連携・交流にも取り組んでいく。
△	「塩竈市杉村惇美術館」においては、開館5周年を迎え、本市の芸術文化に触れる様々な企画展や若手アーティスト発掘・支援を目的とした企画展示とワークショップ等を開催した。こうした取り組みから、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設として、2019年度「地域創造大賞(総務大臣賞)」を受賞した。
○	新型コロナウイルス感染拡大防止臨時休館により、年間利用者数は前年度の91.1%に留まった。今後、施設の有効活用や多様なニーズ、新しい生活様式に対応した事業をさらに検討する必要がある。
-	スポーツ施設の利用者は、一部の施設を除き、全体的に減少傾向となった。これは、温水プールのボイラー設備修繕工事、清水沢近隣公園スポーツ広場の路面改修工事、第二小学校の体育館トイレ改修・床塗装工事等施設により施設が利用休止されたこと、また、新型コロナウイルス感染症対策で屋内・屋外施設とも利用休止となったことが原因となっている。
△	ソフト事業においては、一流アスリート誘致先導事業「リガレー仙台 バレーボールフェスタin塩竈」や、「オリンピックデー・フェスタin塩竈」、プロスポーツ公式試合の誘致など、市民にスポーツの楽しさを知ってもらうことができた。今後とも、体育協会をはじめとするスポーツ団体と連携しながら、各種競技人口のさらなる拡充を図る必要がある。 一方、体育館や温水プールなどの施設や設備の老朽化という課題も抱えていることから、ニーズを捉えた事業を展開できる環境を整えるため、計画的な施設修繕が必要となっている。□ □

- ◎ … 達成 (100%)
- … おおむね達成 (80%~99%程度)
- △ … 達成が十分とはいえない(~79%程度)
- … 調査未実施

※前年実績等も加味し評価を行う